

市政も子育てでも全力投球！

伊藤徳宇桑名市長に聞く

# こんなになすてきな

## 桑名のまち

平成26年度は、桑名市、多度町、長島町の合併からちょうど10周年を迎える節目の年。

記念すべき年に伊藤徳宇市長は、

これからのビジョンをどう描いているのでしょうか。

子育てや得意な家事など、

プライベートも含めて、お話を聞きました。

### 「桑名市」として改めてスタート 今年「ブランド元年」

「私は多度出身ですから、子どものころから上げ馬神事にはなじみがあります。桑名には歴史を礎とした素晴らしいものがたくさんありますし、それと同時にナガシマリゾートといった新しい価値観に基づいた資源もあります」と桑名市について話す伊藤市長。平成16年の桑名市と桑名郡多度町、長島町との合併から10年。これまでを

「それぞれの大切なものを残しながら、共に豊かな街づくりをしよう」という移行期間だった」とし、今は「桑名市」としてさらに一体化し、課題解決やまちのブランド化に努めたい。ひとつの市として大きく羽ばたこうとしています」と話してくれました。

平成26年度を「ブランド元年」と位置づけ、桑名のもつ資源を見つめ直し、市民がその魅力に気づき内外に発信していくことで桑名のブランド価値を高めていきたい

ARmeで動画をチェック!



と考えています。「松平家の歴史や、はまぐりなどの食文化、二代目諸戸清六の邸宅として建てられた六華苑など、桑名には『本物』があるにもかかわらず、まだまだそれに気づき活用しきれていないように思います。市民のまちづくりに対する取り組みをサポートし、ブランド化につなげるのが行政の役割だと考える市長は、例として日本一やかましい祭り「石取祭」を挙げます。江戸時代に始まったとされる石取祭は、平成19年3月に

「桑名石取祭の祭車行事」として国の重要無形民俗文化財に指定されました。平成27年5月には「桑名石取祭保存会」が中心となり、桑名に国の重要文化財に指定されている32の祭りを集めて「山鉦サミット」が開催されます。また、文化庁はこの32の祭りをユネスコの無形文化遺産として登録する準備を進めており、桑名市としても積極的に応援していくとのこと。「桑名石取祭保存会」と一緒に「世界の石取祭がある桑名」をめざします。

### 市民全員参加のまちづくり 子育ても医療も 安心できる桑名に

市民と問題を共有し、全員で解決する「全員参加型市政」をめざし、伊藤市長が昨年2月から始めた取り組みに、「市長カフェ」があります。市長がまちづくり団体やスポーツサークル、文化団体などと対話するもので、これまで20団体と話し合いを展開してきました。「行政との関わりがなかった団体からも申込みがあり、市



### 市長カフェ

まちづくり団体などさまざまな相手と市長カフェを開催。「申し込みは常に受け付けています！」と市長



### 桑名市子ども・子育て応援センター「ぼかぼか」

子育て親子の相談・交流事業を展開したり地域の子どもの憩いと交流を提供しています



1.六華苑/4層の塔屋がある木造2階建て天然スレート葺きの洋館、和館、蔵、池泉回遊式庭園などがあり、地元の人にこそ魅力を見つめなおしてほしい名所 2.ナガシマリゾート/「ナガシマスパランド」、「長島温泉 湯あみの島」、「ホテル花水木」、「なばなの里」などを展開。年間で700万を超える人が訪れる 3.石取祭/鉦(かね)と太鼓を打ち鳴らし、「日本一やかましい祭り」ともいわれます。豪華な祭車の灯火も見もの 4.桑名水郷花火大会/昭和9年伊勢大橋の完成を記念して始まった花火大会。揖斐川中州から打ち上げられる桑名の夏の風物詩 5.上げ馬神事/南北朝時代に始まった多度祭り最大といわれる神事。周辺6地区から選ばれた若者が騎手となって境内の絶壁を駆け上がる

が把握していなかった問題が見つかるし、市政にも興味をもってもらえる」と手ごたえは上々。行政にさまざまな人が関係することでこれまでより柔軟かつ多角的に物事に取り組み態勢が整い始めていると話します。プライベートでは、1月に第二子が生まれ、「一児の父親となった市長。育児休暇を取得し、公務と子育てに奮闘しています。長女の幼稚園と習いごとの送迎を主に担当しています。その際、周囲の母親から子育て支援について直接、意見や悩み事が聞けるなど、思わぬところで効果がありました。

暮らしを送るための第一歩ですから」と熱い思いを語ります。昨年8月には子ども・子育て応援センター「ぼかぼか」が完成し、子育て世代の交流の場となっています。桑名は名古屋から近いこともあり、人口が増加中。「仕事は都市部でも子育ては桑名で」と考える人も多くいます。そんな家庭にも「安心して、子どもを3人育てられるまちづくりをしたい」と市長。「ぼかぼか」は相談窓口として、行政との信頼関係を強める場にもなっています。

### 桑名で育つ子どもたちに 経験を通して明るい未来を

桑名の未来を担う子どもたちには「本物」にどんどん触れてほしいと計画。「2020年の東京五輪に向けて、岐阜県海津市と愛知県愛西市とともにボート競技のキャンプ地招致を計画しています。せつかく世界トップの選手が、東京に来る。そのときオリンピックと桑名が近くにありたい。長良川国際レガッタコースは世界が認めるコースですから、県境を超えて協力し、成功させたい」と意気込みを話してくれました。

さまざまな経験を通して、地域に暮らすすべての人が楽しくまちづくりに参加できる。そんな桑名市を、伊藤市長はめざしています。

### 写真を読み込むと動画に！AR機能がついた初の表紙・巻頭特集！

※動画配信期間2014/4/29まで ※iOS 6.1、Android OS 2.3.3以上に対応

ARme (フリーアプリ)のダウンロードの仕方  
Download on the App Store  
ANDROID APP ON Google play  
でARmeを検索  
iphone, ipad Android



二次元コードからもARmeをダウンロードできます



1 ARmeを起動して、Startマークをタッチ

2 がついた対象写真にカメラをかざすとスキャンがはじまります

3 スキャンに成功すると動画がスタート！巻頭特集だけでなく、表紙もスキャンしてください！

### 桑名市長 伊藤徳宇氏

「料理」が得意。家では家族にバスナなどを振る舞っています。いま挑戦したいのは、煮込み料理と地元のはまぐりを使ったレシピを開発。近日公開があるかも！？写真をARmeで読み込むと市長が動きだし「桑名いきいき体操」が始まります。いつでも、どこでも気軽にできるので、ぜひ挑戦して健康なまちづくりを進めましょう

